

く ろ す



黒須としたか

活動レポート
田園海浜文化都市宣言
CROSS通信

事務所：大網白里町大網33-8サンモア内 TEL0475-73-4126（ナミヨイフロ）
自宅：大網白里町仏島28-8 TEL0475-73-8615 FAX0475-70-2666
<http://www.geocities.jp/ooamicross/> Eメール: ooamicross@ybb.ne.jp

厚生労働省が有効性を否定する 前立腺がんPSA検査は税金の無駄

厚生労働省は前立腺がん検診としてのPSA検査について、2008年にガイドラインを出している。ガイドラインではPSA検査は、市町村の集団検診として推奨する根拠がないとはっきり書いてある。厚生労働省が否定するPSA検査を本市が公費助成する根拠は何かたまたした。

金坂市長は「早期発見のためのPSA検査が重要な対策であると思う。」とのことだった。

健康増進課長は「前立腺がんの罹患率は年々増加傾向にあり、死亡者数も増加すると予測されている。ガイドラインにも、PSA検査は前立腺がんの早期診断をする上で有用な検査であり、個人の判断による受診は妨げないとある。」とのことだった。

しかしながら高齢化の中でがんが

増えるのはどのがんも一緒だ。前立腺がんの年齢調整死亡率は、1996年以降、横ばいというデータ結果が出ている。また、早期発見が重要だとのことだが、早期発見よりも、死亡率を減らすことや残された時間のQOL（生活の質）を高めることが重要ではないのか。早期発見すればどうなってもいいということはない。死亡率は減らないのに、PSA検査によって必要のない治療が行われ、性機能障害や尿漏れなどの弊害が多く出ている。

一方で、子宮頸がんワクチンについては、私がやめろ、やめると何度言っても、日本中で副作用が騒がれても、厚生労働省がやめろと言っていないからやるんだと言っていたのに、前立腺がんPSA検査は、厚生労働省すら否定しているのに税金を

使って助成するのはおかしい。

健康増進課長は「千葉県では63%、34の市町村が実施している。PSA検査は他の検査とあわせて実施し、血液をとって検査するので、簡便だ。日本泌尿器学会が前立腺がん検診を推奨するものとして前立腺がん検診ガイドライン、前立腺がん診療ガイドラインを出しており、住民健診では、50歳からのPSA検査を推奨している。以上のようなことも勘案して助成をしている。」という。

アメリカの予防医学作業部会は、すべての年齢層でPSA検査は不用だと断定している。厚生労働省も否定している。それを泌尿器学会という業界団体の言い分でやり続けるのは税金の無駄遣いで、住民福祉にあたらぬ。

防災無線はどこまで必要

●市民から防災無線について意見を言われることがあります。多いのは聞こえない、聞き取りにくいという意見、もう一方で多いのがうるさい、必要ない、防災だけにして欲しい、朝早い放送は止めて欲しいなどの意見です。どちらの意見にもそれぞれ理由があるうかと思えます。●最近まで電気通信大学の教授をされていた中島義道さんという方がいます。専攻は哲学ですが著作の「うるさい日本の私」をだいたい前に読んだのですが、私には、ちり紙交換だの、「駆け込み乗車はおやめ下さい」とか「エレベーターでは子どもと手をつなぎください」だのトラックは「バックします、バックします」と日本は騒音だらけ。欧米留学の経験などから日本人は騒音に無自覚すぎると言っています。たしかにいらぬ人には騒音でしかない。静かな環境で過ごしたい方もいるし、病気で寝ている人もいます。どちらにせよバランスをとる必要があるのでしょうか。

●ところで定時放送は「防災大網白里」という名前で放送していますが、この名称は変えた方がいいのではないかと思います。何しろ「防災」とは関係のない放送がほとんどだから余計に市民に誤解を与えています。「公報大網白里」とでもした方が余計な誤解や軋轢を回避できるかもしれない。その上で公報はどこまでするのが適切なのか市民と考えていけばよいと思います。